
この想い届けたい

ちっぽけたまご

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

この想い届きたい

【Nコード】

N2144P

【作者名】

ちっぽけたまご

【あらすじ】

暗いとイメージ的に恐れられていた黒川綾。早見啓介という憧れの生徒のすすめで、夏休みにリメイクをしたところ夏休みが明け、学校に行く事になった綾。ところが、教室にはいったとたん、クラスメイトの反応が・・・・・・・・・・・・？？？？！！

第一章〜リメイク〜（前書き）

連載です

第一章、読んで下さい。

第一章 リメイク

「真夏なのに白い肌。」

「真っ黒な長い髪。」

「きやはは、それでさあー。」

「登校時間はいつも一人で登校する・・・。」

「これ、もらつといてー。」

ポトツ

前方にいた女子生徒二人の一人の鞆の中からハンカチが落ちた。それを拾ったわたしは、ハンカチを返そうとした。

「あのー・・・。」

振り返る女子。

一瞬、口が開いた。

「落としましたよ・・・。」

にいつと笑う。これでも精一杯笑ってるつもりなのに・・・いつも・・・、

「ごごごめんなさささ・・・い!!!」「そ、そのハンカチい
いらないからー!!」

（あ、また謝られた。）

まあ・・・いいか。

一年前はそうでした・・・いや半年前までは・・・。

教室の前にたつ。・・・2年F組・・・。入りたくないな・・・、ま、し
ようがない。

ガラツツ

「あ、・・・黒川。」

「おは・・・よう・・・つ・・・つ・・・。」

「おは・・・よう(?)」

「ねえ、爽子かわったよね・・・？」

「夏休みあけたらどうなった訳・・・？」

一人で開けたドアの後ろには、爽やかで出来てるって感じの早見啓はやみけい介君・・・。

「黒川つおはよー！・・・黒川か・・・？」

「え・・・あ、うん。」

みんなが驚くのも当たり前。あたしは半年前の姿じゃなく、髪を一つ縛りにして前にやっていたのだから。

リメイク・・・かな。

早見君が憧れになってから、かえたいと思って夏休みでめどを付けたから・・・。

早見君はほかの男子と違った。

入学式の時、（まだ髪を縛っていないとき、）早見君は道に迷っていたのときよろきよろきしていた。わたしは、困っている人を助ける事は当たり前だと、一言声をかけた。

「城北高校だとしたらこつちですけど・・・。」

めを白くした早見君は、いつも謝られてばかりの私に精一杯の笑顔を見せて、

「ありがとー！！助かった！」

そういつてくれたのです。それから早見君はいつも私のあこがれです。

あたしがそう思っているだけで、早見君は別にそんな事は思っていないと思います。だけど、この思いが届いたらいいなって思ってしまったからいつでもこれはあきらめのめどがつかなくて・・・それに、早見君の顔はさわやかでかつこいいいので、女子に結構持てそう・・・。

目を丸くして私をじっと見るクラスメート達に一言。

「前の私・・・そんなに暗かったですか？」

し．．．ん．．．

「う．．．．．。」

（う．．．???）

「うん！！！！！すつつつつつごくめつつつちや暗かった！！」
がーん。そうだったんだ．．．だから恐れられてたのか

「でも、今は仲間に入ってくれるのが楽しみていうか、気持ちが変わるのもおかしいとおもうけど、あたしは．．綾あんたを信じた
い。」

目の前にいた伊野^{いの} 紫緒^{しお}さんが言ったとき、わああつと私の居場所
は広くなった。

このとき気づいてなかったのです。早見君の顔に．．．．

第一章〜リメイク〜（後書き）

お読みいただき、ありがとうございました。

第一章に続き、第二章も良かったらお読み下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2144p/>

この想い届けたい

2010年11月29日21時21分発行